



よ坊さんだより

▼38▲

「デンタルネグレクト」という言葉をご存じですか？

デンタル（歯科）ネグレクト（虐待・育児放棄）とは、保護者が子どもに必要な口のケアをしないことや、口の疾患の治療を受けさせない医療ネグレクトを意味します。

小さな子どもの時期は、自身での口のケアが難しく、また、自ら歯科受診することが困難なことから、子どもの口の健康は保護者

す。

歯の疾患であるむし歯や歯が折れている場合には、自然治癒することはありません。このような状態を放置することで、かみ合わせが悪くなるばかりか、食べ物をおいしく食べる事ができなくなり、体の成長に

デンタルネグレクトは 早期発見が重要

が、重度のむし歯や歯肉炎になっていたり、歯の破折、唇や頬の損傷などがあるにも関わらず、保護者が子どもに必要な歯科受診を行わないと、子どもの成長に影響を及ぼしてしまいま

も支障が出てしまいます。さらに、放置することで、歯の根に細菌が入り込み病巣ができてしまい、歯根の治療をしても治らない場合には、永久歯であっても抜歯をしないといけないこと

もあります。

子どもの口の健康状態は、生育環境や保護者の育児姿勢が如実に反映されている傾向があることから、口の健康の異常はネグレクトのサインとも考えられます。

京都府歯科医師会では、学校の歯科健診などを通して、口の健康状態を評価するだけにとどまらず、養護教諭の先生や行政の担当者の方々と連携して、早期の発見、支援をしています。

（京都府歯科医師会 学校歯科部委員 岡田尚則）
*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。